

令和7年5月1日

報道機関 各位

**千葉県立茂原高等学校における
認知症サポーター養成講座の開催について**

表題の件について、下記のとおり、開催します。

記

- | | | |
|---|-----|-------------------------------------|
| 1 | 日 時 | 令和7年5月19日（月）14時25分から |
| 2 | 場 所 | 千葉県立茂原高等学校
(参加人数：茂原高等学校3年生 158名) |
| 3 | 内 容 | 別紙のとおり |

【概要説明】

- 高校生を対象とした認知症サポーター養成講座を開催します。
(茂原市において高校生を対象とした実施は、昨年に続き2回目です。)
- 認知症サポーター養成講座とは、地域や職域団体等を対象に、認知症の正しい知識や、付き合い方についての講義を行う住民講座・ミニ学習会などのことです。
- 認知症サポーターの役割としては、認知症サポーターは「なにか」特別なことをやる人ではありません。講座を通じて認知症の正しい知識を習得し、自分のできる範囲で認知症の人や家族を応援することが認知症サポーターです。
例えば、友人や家族に講座で学んだ知識を伝えていくことや、認知症の人や家族の気持ちを理解するように努める、と言ったこともサポーターにできる支援のひとつになります。
- 商店や交通機関等において、できる範囲で手助けをするなど、色々な関り方があります。

お問い合わせ先
茂原市福祉部高齢者支援課
地域包括支援室
TEL：0475-20-1583

別紙 1

茂原高等学校における認知症サポーター養成講座

日時：令和 7 年 5 月 19 日（月）

場所：茂原高等学校体育館

時 間		内 容
14：25～15：25	(60分)	認知症に関する講義・DVD
15：25～15：35	(10分)	休憩（高齢者疑似体験等準備）
15：35～15：40	(5分)	高齢者疑似体験等学習の説明
15：40～15：55	(15分)	体験学習
		（高齢者疑似体験、車いす体験、白内障体験）
15：55～16：00	(5分)	体験発表
		（高齢者疑似体験をした生徒から感想を聞く）
16：00～16：15	(15分)	まとめ

・参加人数 158 名（茂原高等学校 3 年生全員を対象）

・運営側の参加人数 35 名（予定）

市役所職員：4 名 地域包括支援センター職員：9 名

ボランティア：9 名 福祉用具事業所：13 名（5 事業所）

体験のやり方について

会場全体図

G	D	A
H	E	B
I	F	C

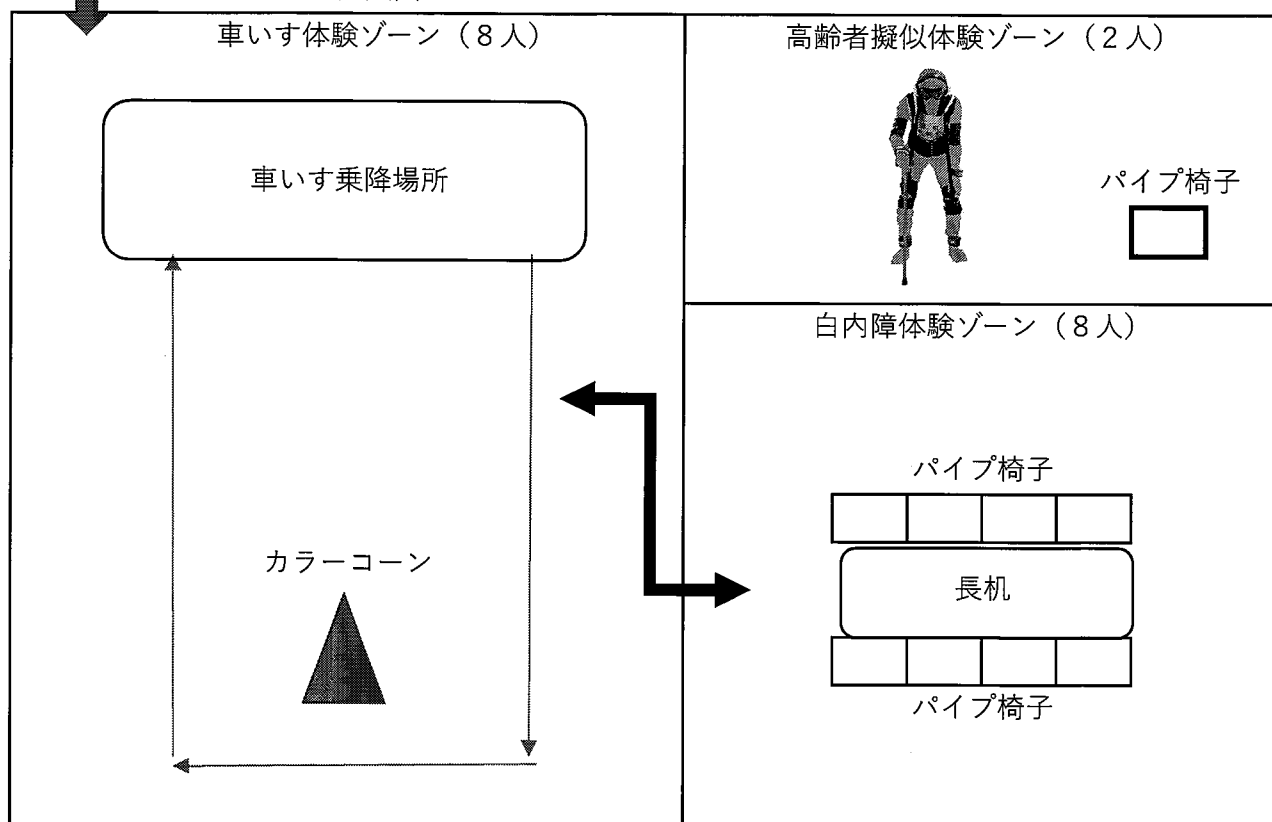
A～Iまでの9グループ

1グループ 17、18人

体験型学習（15分間）

- ・高齢者疑似体験
- ・車いす体験
- ・白内障体験

1グループの拡大図



高齢者体験：生徒2人実施。1人あたり7分間高齢者疑似体験セットを装着して歩行してもらう。装着していない方は介助者役として見守りや手引きを行ってもらう。

白内障体験：生徒1グループ8人×2回。1グループあたり7分間実施。初めに白内障アイマスク（緩衝材のプチプチに輪ゴムをホチキスとセロテープでとめる。）作成を行う。作成後、アイマスクを装着し、書類の文字を読んだり、書類に記入してもらう。白内障体験が終了した生徒は、車いす体験の場所へ移動する。

車いす体験：生徒1グループ8人×2回。1グループあたり7分間実施。高校生は2人1組になってもらい、1人は車いすに乗り、もう1人は押す介助者役。車いす体験が終了した生徒は、白内障体験の場所へ移動する。

※体験時はスカートの中身が見えないよう**ジャージ**を着用する。

※白内障体験を行う生徒は**ホチキス**と**セロテープ**持参する。

※水分補給のために**飲み物**を持参する。（全員）